

多職種連携における観察と 報告のポイント

介護専門職は同職種もですが、多職種との連携も必要不可欠です。

ですが、他職種にはそれぞれの専門性があり、介護福祉専門職ではわからないことも多数あります。

しかしながら、連携を行っていくにあたり、適切な観察と報告のポイントを押さえて報告を行うことは、必要不可欠です。

利用者の急変、少しの体調の変化に気付いたことを、どのように他専門職へ報告すればよいかのポイントを学びます。

- ・ 主 催 一般社団法人 鹿児島県介護福祉士会
- ・ 日 時 令和7年9月30日（火） 13：00～16：00
- ・ 開催用法 (1) 会場参加
鹿児島県社会福祉センター（鹿児島市鴨池新町1-7）にご来場ください。
(2) オンライン参加
Zoonが使用できる環境にて各自のオンライン実施場所からご参加ください。
- ・ 講 師 水溜 正子 氏（鹿児島県介護福祉士会 / 竹山苑 訪問介護事業）
(以前は、特別養護老人ホームにて介護主任として多職種連携を行う。)
- ・ 参加費 会 員・・・3,800円 賛助会員・・・4,500円 一 般・・・5,500円
- ・ 定 員 40名程度（先着順とし、定員になり次第締め切りをいたします。)
- ・ 申込方法 申込用紙に必要事項をご記入いただき、FAX、郵送または申込用紙を写真に撮ったものをメール添付にて、鹿児島県介護福祉士会 事務局までお申込みください。
- ・ その他 (1) 随時、参加決定通知を郵送いたします。参加決定後の流れや参加費のお支払いについては、同通知にてご確認ください。
(2) 一台のデバイスで複数人参加される場合は、参加人数分のお申し込み、受講料が必要となります。
(3) お申込人数が少ない場合は、セミナー開催を中止する場合があります。ご了承のうえ、お申込みください。その場合も、中止に関する通知を郵送いたします。